

令和5年8月4日
株式会社京葉銀行



千葉市サステナビリティボンドへの投資について

株式会社京葉銀行（頭取 熊谷 俊行）は、このたび、千葉市（市長 神谷 俊一）が発行するサステナビリティボンドに投資したことをお知らせします。

サステナビリティボンドは、調達資金の全額が環境問題の解決を目指すグリーンプロジェクトや、社会課題の解決を目指すソーシャルプロジェクトの双方に使われる債券です。

本債券の発行にあたって、千葉市は「千葉市サステナビリティファイナンス・フレームワーク」を策定し、国際資本市場協会（International Capital Market Association、以下「ICMA」という）による「グリーンボンド原則2021」、「ソーシャルボンド原則2021」、「サステナビリティボンドガイドライン2021」等との適合性について、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（JCR）から外部評価（セカンドオピニオン）を取得しています。

本債券は、フレームワークで策定された適格グリーンプロジェクトに該当する市有施設（グリーンビルディング）の新設・改修、鉄道・モノレール関連施設・設備整備、河川管理・改修や、適格ソーシャルプロジェクトに該当する学校・教育施設整備、防災・災害対策、市有施設のバリアフリー化へ主に充当される予定です。

〈本債券の概要〉

銘 柄	千葉市令和5年度第4回公募公債(サステナビリティボンド)
年 限	10年
発行総額	50億円
発行日	2023年(令和5年)8月25日(金)

当行は今後も、地域金融機関としてSDGs達成に向けた取り組みを通じて、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

以上



京葉銀行ではSDGsへの取り組みに関するニュースリリースに、「SDGs 17の目標アイコン」を標示しています。

【SDGs : Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)】
2015年9月に国連で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成される。